

日本ビジネス実務学会・広報委員会
〒158-8630 世田谷区等々力6-39-15
産能短期大学気付
TEL・FAX(03)-3704-9180

// 特集 // 2000年度 ブロック研究会活動報告

北海道ブロック



北海道ブロックで、昨年9月開催された第19回全国大会をお引き受けすることになった。そのため、年度当初より、ブロック会員の間で、さまざまな準備が進められた。大過なく大会を運営できましたが、種々行き届かない点があったことと思います。この紙面を

お借りして、参加会員の皆様に御礼申し上げるとともに、お詫び申し上げます次第です。

今年度のブロック研究会は、1月10日開催された。平日だったこともあり、授業などで日程調整がつかない会員も多く、出席者は16名にとどまった。当日の発表・報告は、次の3件であった。

(1) 北海道における働く女性の現状と課題

道都大学短期大学部
中川 昌代 氏
北海道武蔵女子短期大学
和田 佳子 氏
北海道浅井学園大学
佐々木邦子 氏
國學院短期大学
椿 明美 氏

本発表は、かなり長期にわたる調査研究をベースにしたものであり、多岐にわたり今日的な論点を提示した。今回発表のエッセンスは、「働く女」(中川昌代編著 文真堂)にまとめられている。ご興味のある方は、ぜひ一読していただきたい。

(2) 学生の言葉づかいへの指導—学生の敬語に関する意識について—

北海道文教短期大学 加藤 由紀子 氏

加藤氏は、昨年度の発表も含め、自らの授業実践を通して、「学生の言葉づかい」を調査している。今回は「敬語」が取り上げられたが、さまざまなセグメントに基づいて分析されている。限定的なサンプル数であるが、学生の敬語に対する意識など、大変興味深い事実が提示された。

(3) 「受益と負担」の関係を学生に理解させる授業上の試み 札幌国際大学 北崎 寛 氏

近年、構造的な財政逼迫などから、自治体では、住民の行政サービスによる「受益」と「負担」をどのように均衡させるか、行政サービス計算の手法などをめぐって種々議論が始まっている。本発表は、従来ビジネス系学生に対し、企業経営的アプローチから、コストとベネフィットを教えることが多かった。公共図書館・公立高校の授業料・ゴミ処理など、より身近な教材の提供を意図したものであった。

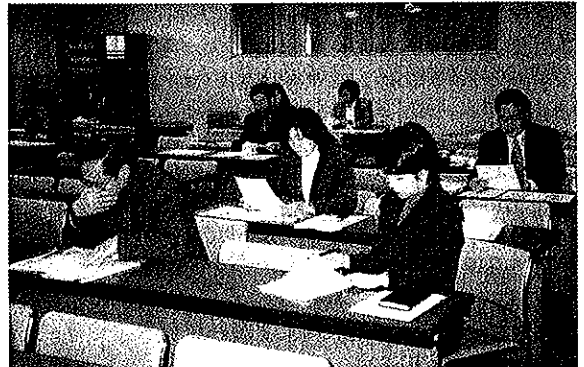
当ブロックは会員数が少ないが、「授業改革」など訴求力のある課題を提示し、会員拡大と活発な意見交換・研究を喚起していきたい。

研究会終了後、全国大会の慰労をかねて、ささやかな懇親会を実施した。

なお、本年度次のテーマに対し、研究助成を行ったが、9月全国大会にて、その成果が発表された。今後もこの研究を嚆矢に、活発な共同研究が立ち上がることを期待したい。

*「札幌および近郊の企業における秘書職の変遷」

(研究者：官尾昌子・佐々木邦子・椿明美・和田佳子の各氏)
(文責：北崎)



関東・東北ブロック

1. ブロックの運営動向

平成12年度のブロックの運営について、運営委員会において次のことが決定された。



ブロック研究会における広報活動については、学会からのブロック広報費をもとに、広報活動を行う。

- ①役員・評議員の改選にあたり、ブロックから役員候補者選考委員として、3名を推薦する。
- ②今年度の共同研究で、実務家共同研究2チームが研究を開始した。

2. ブロック研究会の活動

第28回ブロック研究会は、平成13年2月25日（日）に東京工芸大学女子短期大学の当番校により、東商スカイルームにおいて開催された。参加者はビジターを含め80名。

今年度の学会統一テーマ「実務能力を革新する『企業と大学』」のもと、シンポジウムと8本の共同研究発表をメインプログラムとして行った。

研究会は、まず、当番校である東京工芸大学の本多健一学長より挨拶があり、佐藤東九男実行委員長からスケジュールの説明と続いた。研究会に先立ち総会の席上で佐藤啓子ブロックリーダーから日本ビジネス実務学会常任理事会での決定事項、ブロック研究会運営委員会での決定事項について報告があった。

研究会では、池内健治コーディネーターによって、「情報化時代のビジネスと求められる実務能力」というテーマでシンポジウムが行われた。発表者は、西野伸一郎氏（Amazon.co.jp ジェネラルマネージャー）、田中淳子氏（グローバルナレッジネットワークインク日本支社 人材教育コンサルタント）、林忠士氏（株式会社インプレス 汎用システム部長）、田中敦氏（株式会社JTB 市場開発部 調査役）。昼食をはさんで、シンポジウム発表者とQ&Aとして、昼休みに集めた発表者への質問に対し、発表者が意見を述べた。

続いて、今年度の共同研究2チームの中間報告がなされた。

ブロック研究会研究発表は次のとおり

- ①「高等教育機関における実務教育の改善の方向」 斎藤勇二（産能短期大学）
- ②「群馬県内企業におけるコラボレーション・情報共有の現状と課題」 山口憲二（新島学園女子短期大学）
- ③「東北地方におけるビジネス・インターンシップ制度の課題」 植竹由美子（仙台白百合短期大学）
- ④「ホスピタリティ実務教育への展開」 畑中国明（日本能率協会）
- ⑤「『ビジネス情報学』への提言」 小池澄男（東京家政学院大学）
- ⑥「私用電子メールに関する考察」 個人発表 大島武（東京工芸大学女子短期大学部）

3. 共同研究発表

平成12年度の共同研究として2チーム（①、②）さらに、実務家共同研究として2チーム（③、④）が活動を行っている。

- ①「人材派遣に関する考察」 重田守輝（国際短期大学）
- ②「ホスピタリティの実践研究」 古閑博美（嘉悦女子短期大学）
- ③「IT活用によるワークスタイル多様化の研究」 堤幸男（財団法人日本テレワーク協会 主任研究員）
- ④「仮想企業：ときめきウイメンカンパニーにおける女性がいきいき活躍できる人事施策と人事制度の研究」 芝原脩次（WAKUWAKUヒューマンカンパニー代表）



中部<東海・北陸>ブロック

「ブロック運営委員会」の活動

当ブロック研究会は、一昨年度来、ブロックの活性化を図るため共同研究への助成を行い、着実な成果を挙げてきた。

平成12年度の研究会（平成13年度1月6日～7日）は、静岡県立大学短期大学部で開催し、8本の研究発表があり充実したものであった。

さて、12年度（平成12年5月1日～13年4月31日）の運営委員会は平成13年1月6日（於・静岡県立大学短期大学部）に開催した。概要は以下の通りである。

Ⅰ. 報告事項

1) 平成12年度ブロック研究会の活動について

- ①学会主催「ビジネス実務教育指導法セミナー」（リーダー・佐々木怜子先生）について
- ②ブロック研究会助成、「ケースメソッドを利用したコミュニ

ケーションスキルの教育方法の研究」（リーダー・戸田昭直先生）について

2) 平成12年度ブロック研究会の開催について

Ⅱ. 審議事項

- 1) 日本ビジネス実務学会理事選考委員選出について
- 2) ブロック研究会運営委員（任期：平成13年5月1日～15年4月30日）選出について
- 3) 平成13年度ブロック研究会について
平成13年1月6日～7日、金城大学短期大学部（石川県松任市）で開催することを決定

Ⅲ. その他

- ① 若き研究者などの入会勧誘をおこなうことの必要性について
- ② ブロック『会報』15号の編集・発行業務について

[島名正英・記]



「ブロック研究会」の開催

本年度（平成12年度）は、平成13年度1月6日（土）・7日（日）、静岡県立大学短期大学部で開催された。新年早々の時期にもかかわらず、多くの会員の参加があった。とくに新会員の出席もあり有意義なものとなった。会は、ブロックリーダーの島名正英先生の開催挨拶に続いて総会が行われ、学会の動向や運営委員会の活動報告、ブロック研究助成についての報告があり、さらに次回ブロック研究会の会期・場所などの議案が満場一致で承認された。



研究発表は、第一日目は、柴山正先生、河野久子先生、戸田昭直先生、北潟克輔先生、第二日目は一柳達幸先生、権田恵子先生、鎌田和江先生、

福岡欣治先生のたぐみな司会に導かれ、次の8研究の発表があった。

- ① ブロック研究会助成研究「ケース・メソッドを利用したコミュニケーションスキルの教育方法の研究」戸田昭直先生・織田善幌先生・河村真澄先生・岡野絹江先生・権田

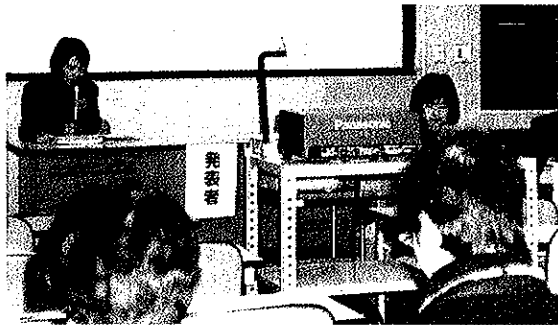
恵子先生・水口美知子先生・笹瀬佐代子先生・杉本百合香先生・原川かず江先生・平田祐子先生・賀永マキ子先生・吉田由紀子先生

- ② 「定時制課程におけるビジネス実務教育の実践について－教科『総合実践』での秘書実務指導－」鈴木和也先生
 ③ 「オーストリア高等教育機関におけるビジネス・インターンシップ」中村健壽
 ④ 「秘書業務の効率化と心理的資質の関連について」國田千恵子先生・中村健壽・内山伊知郎先生・福岡欣治先生・一柳達幸先生・柴山正先生・石川雅健先生・井上英理佳先生・平田祐子先生・余語真夫先生・加藤宏美先生
 ⑤ 「ビジネス実務教育におけるビジネス・コミュニケーション行為」北潟克輔先生
 ⑥ 「ボランティア活動についての一考察」加藤洋二郎先生・柴山正先生
 ⑦ 「短大生のビジネス能力に関する意識調査」戸田昭直先生・笹瀬佐代子先生
 ⑧ 「リスク・マネジメント－環境会計の側面から－」柴山正先生

昨年度に続いて今年度も共同研究による発表が多いこと、研究テーマや領域が複雑化・多様化していることが顕著に見られることから、それぞれの領域における研究方法論の確立が急務であることを痛感した。

なお、第一日目には恒例の懇親会が催され、相互の旧交を温めたり、教育・研究の情報の交換、また研究発表者との質疑応答などが続いた。

[中村健壽・記]



近畿ブロック

第30回近畿ブロック研究会は平成12年3月20日（祝）午後1時より午後5時まで、大阪国際交流センターにて開催されました。最初、福永弘之ブロックリーダー（姫路工業大）から「新しい資格について」紹介がありました。

個人研究発表は以下の4名の先生方で、それぞれ日常の研究成果を発表されました。

- ① 「インターンシップ実習生受入について～平成11年度 京都中小企業同友会・活動報告～大学・コンソーシアム京都との係わりにおいて」

伊佐 昶子先生（オフィス・シャルロット）

- ② 「マーケットバリューとビジネス実務能力」
 雑賀 憲彦先生（大谷女子短大）

- ③ 「老人保健施設におけるビジネスとしての生命観」
 林 雄太郎先生（大阪キリスト教短大）

- ④ 「医療秘書教育の理念と実際に関する実証的研究」
 堀 初子（関西女子短大）

ティータイムの後、今回学会からの共同研究が回ってきて

います「情報リテラシーについて」をテーマとして分科会を持ちました。

第31回近畿ブロック研究会は平成12年8月9日（木）午後1時より4時まで、Hyogoしごと情報ひろばを会場として28名の参加を得て開催されました。

最初、緒方真澄先生（平安女学院短大）司会のもと総会が開かれ、福永弘之ブロックリーダーより活動報告・決算報告がなされ、さらに前回に引き続き新称号についての紹介および共同研究（継続1件、新規1件）、運営委員の変更（新規に笠原多恵子先生）の報告がありました。続いて講演では緒方真澄先生司会のもと兵庫学生・Uターン就職支援センターの伊藤互氏が「兵庫県下におけるインターンシップの状況と制度」と題し話をされました。

研究発表は有働寿恵先生（梅花短大）司会のもと共同研究発表1件、個人研究発表1件がなされました。

- ① 「ワーカー自身によるキャリア評価」

中村 芙美子先生（プール学院短大）

- 黒田 廣美先生 (聖和大短大部)
 大窪 久代先生 (近畿大短大部)
 ②「マネジメントの源流」
 林 雄太郎先生 (大阪キリスト教短大)

ティータイムの後、分科会を持ちました。杉田乾伍先生 (姫路日ノ本学園短大) を代表とする共同研究につき、「情報リテラシーのアンケートの中間報告」があり、次いで質疑の場を持ちました。



中国・四国ブロック

1 活動の概況

1999年10月、現ブロックリーダー、サブリーダーによるブロック研究会運営が始められ、事務局責任者を吉田行宏先生に担当いただいて、ブロックを構成する地域を代表する運営委員を選び、さらに活動の活性化のために2つの委員会を構成してブロック運営にあたってきた。今年度で2年間の任期を終えることから、活動を概括して報告する。

報告にあたって事務局担当の吉田行宏先生の労を多とし、実質的にブロック運営を担ってくださったことに、感謝申し上げたい。

主な活動目標は下記の3つであり、それに従って報告する。

- 1 会員数の増加と、より広範な領域から新会員を得ること
 休眠状態の会員等を学会本部で整理していただいたあと、減数を回復するまでにはいたらなかった。継続的な会員獲得はたやすいことではなく、魅力ある学会活動が、身近に存在しなければ困難であると、痛感する2年間であった。

2 委員会構成による研究会活動の活発化

企画研究推進委員会は、会員募集の呼びかけ、実務家の参加を促すためのシンポジウムや共同研究企画を計画している。また共同研究については、助成申請要綱を準備し、1件4万円(計2件)の助成額を予算化している。申請を待つだけでなく、可能性のあるところに、積極的な支援・助言も計画されている。

情報・広報委員会はブロック会員用のグループウェアを開発した。将来的には学会ホームページ上での運用が望ましいとも考えられるが、現在は事務局担当の安田女子短期大学秘書科のサーバーを利用して運用している。

両委員会の活動に効果的な結果を求めるには時期尚早であり、今後の成果が期待される。

3 共同研究の立ち上げと進展

JACBの委託研究を受けたビジネスインターンシップにかかわる教育方法と教材の開発が、ほぼ完成を迎えた。共同研究に参加した方々の努力・尽力には、大きなものがあった。JACB助成金が終了することから、続いてブロック研究会より助成を継続することが必要であろう。

一方で、再三の呼びかけにもかかわらず、その他の共同

研究助成要請はない。新しい共同研究が発生する土壌作りを考えること等、企画研究推進委員会では検討しており、成果を得るまでにいまま少し時間が必要と思われる。

2 平成12年度活動報告

- 1 中国・四国ブロック研究会の開催：岡山地区会員の見事な連携と、充実した発表内容、和やかな運営が印象的な研究会となった。

日時：平成12年10月14日(土)、15日(日)

場所：アークホテル岡山

参加者：52名、発表件数：15件

ビジネスインターンシップについてのトークセッションを、学会評議員重松都也氏(ベネッセコーポレーション)を迎えて開催した。

2 ブロック研究会総会

平成12年10月14日(土)、研究会開催時に実施。

3 運営委員会

平成12年9月8日(全国大会時)

平成12年10月14日(ブロック研究会時)

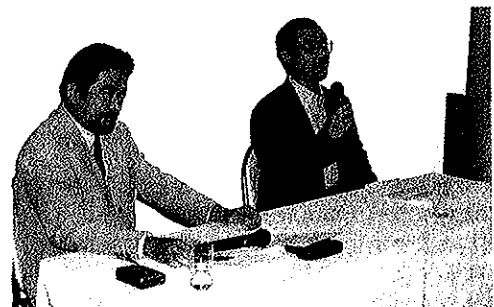
各委員会も同時に開いた。

4 運営小委員会(リーダー、サブリーダー、事務局責任者)

平成12年5月14日、7月2日、3月4日

いずれも委託研究研究会時を利用して開いた。

- 5 JACB委託研究「ビジネスインターンシップ教育」の共同研究研究責任者：篠原収先生の下、委託目的と期待を



超え、今後学会の知的財産となると思われる共同研究がまとまった。所定の手続きに従って、4月中に報告書が提出される。

6 会員用グループウェアの開設：会員の利用を待っている。

アドレス：<http://hisyo2.yasuda-u.ac.jp>

7 ブロック会報

3月28日にブロック会員および関係各位に発送した。



九州・沖縄ブロック

1. ブロックの運営動向

平成12年度の九州・沖縄ブロック研究会は、昨年秋の全国大会との兼ね合いから秋の研究会を行わず、平成13年2月17日（土）に福岡市において一回のみの開催となった。

研究会当日の運営委員会において、平成12年度の活動の報告、平成13年度の研究会の二回開催、選考委員、会報の発行等の決定



を行った。

運営委員会での決定を受け、研究会会場にて運営委員会の報告、平成13年度研究会開催回数、時期、会報の内容などの議案が承認された。

2. 研究会活動

—第29回研究会—

期 日：平成13年2月17日（土）

場 所：天神幸ビル（福岡市中央区）

出席者：15名

研究発表

「ベンチャー企業が求める人材・能力と大学教育への期待」

発表者：井上善海（九州情報大学）

座 長：杉原英夫（九州共立大学）

「今日の文書処理教育に関する一考察」

発表者：木原すみ子（九州龍谷短期大学）

座 長：光岡 延幸（福岡女子短期大学）

「Business Modelと Education Model」

発表者：八杉 哲（鹿児島県立短期大学）

座 長：花崎 正子（東筑紫短期大学）

「企業経営における未来学（その2）」

発表者：杉原 英夫（九州共立大学）

座 長：坂本 一登（福岡女子短期大学）

上記の研究発表論題にみられるように発表内容が、企業の実態調査、教育現場の課題等に基づいた大学教育について、ITを使用した教育・経営、ITと流通、さらに人間尊重の人事評価システム等多方面にわたり、充実した研究会となった。研究会終了後、会場を移動し花崎正子先生の司会・進行により恒例の懇親会が催された。参加者の近況報告、教育/研究についての情報交換等々、参加者相互の親睦を深め盛会のうちに無事全てのプログラムを終了した。

（坂本一登記）



研究発表一覧

【北海道】

北海道における働く女性の現状と課題
 中川 昌代 (道都大学短期大学部)
 和田 佳子 (北海道武蔵女子短期大学)
 佐々木邦子 (北海道浅井学園大学)
 椿 明美 (國學院短期大学)
 学生の言葉づかいへの指導—学生の敬語
 に関する意識について—
 加藤 由紀子 (北海道文教短期大学)
 「受益と負担」の関係を学生に理解させる
 授業上の試み

北崎 寛 (札幌国際大学)

【関東・東北】

「高等教育機関における実務教育の改善
 の方向」

斎藤勇二 (産能短期大学)
 宮地 利彦 (帝京大学短期大学)
 渡辺 裕一 (産能短期大学)
 高原 尚志 (東京工芸大学女子短期大
 学部)

「群馬県内企業におけるコラボレーショ
 ン・情報共有の現状と課題」

山口 憲二 (新島学園女子短期大学)
 大宮 智江 (高崎商科短期大学)
 大宮 登 (高崎経済大学)
 三宅 落子 (群馬女子短期大学)
 村井 信行 (群馬職業能力開発短期大
 学校)
 筑後 一郎 (高崎経済大学大学院)

「東北地方におけるビジネス・インター
 ンシップ制度の課題」

植竹由美子 (仙台白百合短期大学)
 菊地 史子 (福島学院短期大学)
 小林 紀子 (聖霊女子短期大学)
 浅野 浩子 (仙台白百合短期大学)

「ホスピタリティ実務教育への展開」

畑中国明 (日本能率協会)
 島田 薫 (聖徳大学短期大学部)
 篠田 充子 (実務技能検定協会)

「『ビジネス情報学』への提言」

小池 澄男 (東京家政学院大学)
 佐藤東九男 (東京工芸大学女子短期大
 学部)
 重田 守輝 (国際短期大学)
 藤田紀美枝 (日本橋学園大学)
 四之宮玲子 (日本大学)
 原口 正行 (東京家政学院大学)

「私用電子メールに関する考察」

大島武 (東京工芸大学女子短期大学部)

【中部】

「ケース・メソッドを利用したコミュニケ
 ーションスキルの教育方法の研究」

戸田 昭直 (浜松短期大学)
 織田 善規 (長岡短期大学)
 河村 真澄 (岡崎女子短期大学)
 岡野 絹江 (富山福祉短期大学)
 権田 恵子 (名古屋経営短期大学)
 水口美知子 (市邨学園短期大学)

笹瀬佐代子 (浜松短期大学)
 杉本百合香 (一宮女子短期大学)
 原川かず江 (富士フェニックス短期大学)
 平田 祐子 (近畿大学短期大学部)
 賀永マキ子 (名古屋聖霊短期大学)
 吉田由紀子 (名古屋聖霊短期大学)
 「定時制課程におけるビジネス実務教育の
 実践について—教科『総合実践』での秘書実
 務指導—」

鈴木和也 (山梨県立中央高等学校)
 「オーストリア高等教育機関におけるビジネ
 ス・インターンシップ」

中村健壽 (静岡県立大学短期大学部)
 「秘書業務の効率化と心理的資質の関連につ
 いて」

國田千恵子 (金沢学院短期大学)
 中村 健壽 (静岡県立大学短期大学部)
 内山伊知郎 (同志社大学)
 福岡 欣治 (静岡県立大学短期大学部)
 一柳達幸 (一宮女子短期大学)
 柴山 正 (名古屋女子大学短期大学部)
 井上英理佳 (東京国際大学)
 平田 祐子 (近畿大学短期大学部)
 加藤 宏美 (静岡県立大学短期大学部)
 石川 雅健 (名古屋女子文化短期大学)
 余語 真夫 (同志社大学)
 「ビジネス実務教育におけるビジネス・コミ
 ュニケーション行為」

北潟克輔 (金城短期大学)
 「ボランティア活動についての一考察」
 加藤洋二郎 (名古屋女子短期大学)
 柴山 正 (名古屋女子大学短期大学部)
 「短大生のビジネス能力に関する意識調査」
 戸田 昭直 (浜松短期大学)
 笹瀬佐代子 (浜松短期大学)
 「リスク・マネジメント—環境会計の側面か
 ら—」

柴山 正 (名古屋女子大学短期大学部)
 【近畿】
 「インターンシップ実習生受入について—平
 成11年度 京都中小企業同友会・活動報告—
 大学・コンソーシアム京都との係わりにおい
 て」

伊佐 穂子 (オフィス・シャルロット)
 「マーケットバリューとビジネス実務能力」
 雑賀 憲彦 (大谷女子短期大学)
 「老人保険施設におけるビジネスとしての生
 命観」
 林 雄太郎 (大阪キリスト教短期大学)
 「医療秘書教育の理念と実際に関する実証的
 研究」

堀 初子 (関西女子短期大学)
 「ワーカー自身によるキャリア評価」
 中村美美子 (アール学院短期大学)
 黒田 廣美 (聖和大学短期大学部)
 大窪 久代 (近畿大学短期大学部)
 「マネジメントの漂流」
 林 雄太郎 (大阪キリスト教短期大学)

【中国・四国】

「社会福祉法人の経営動向(1)—経営課題の概
 要—」

須藤 芳正 (川崎医療福祉大学)
 荒川真由美 (川崎医療福祉大学)
 田中 伸代 (川崎医療福祉大学)
 「医療経営におけるサービスの特徴について」

三宅 耕三 (香川短期大学)
 「自動車メーカーの生き残り戦略—ケースス
 タディを中心に—」

水代 仁 (松山東雲短期大学)
 亀岡 篤 (松山東雲短期大学)

「Book Keeping Keywords—From A to Z
 —」

堀 正久 (聖和大学短期大学部)
 「情報共有促進に関する試行—学会ブロック
 研究会Webページを通じて—」

吉田 行弘 (安田女子短期大学)
 佃 昌道 (高松短期大学)

西川三恵子 (土佐女子短期大学)
 「短大における起業家育成教育の取り組みに
 ついて」

山本 慶子 (香川短期大学)
 「就職の面接対策を取り入れた秘書授業の試
 み」

前原 節子 (岡山短期大学)
 「ビジネス理論の研究[—ワーカー・ワーク・
 能力の概念を中心に—」

今林 宏典 (呉大学短期大学)

「ビジネスにおけるコミュニケーション」
 川端 淑子 (山陽学園短期大学)

「フィランソロピーの構築」
 樋口 紀子 (梅光女学院大学短期大学部)

「ジョナサン・スウィフトの秘書能力」
 藤田 雅子 (大阪青山短期大学)

「現代人の敬語認識」
 小森 敬子 (作陽短期大学)

「XMLと電子メールによる『自己採点シス
 テム』の開発」

山下 明博 (安田女子短期大学)
 「ビジネスにおけるネット利用について」

磯田 圭子 (安田女子短期大学)
 【九州・沖縄】

「ベンチャー企業が求める人材・能力と大学
 教育への期待」

井上善海 (九州情報大学)
 「今日の文書処理教育に関する一考察」

木原すみ子 (九州龍谷短期大学)
 「Business Modelと Education Model」

八杉 哲 (鹿児島県立短期大学)
 「企業経営における未来学 (その2)」

杉原 英夫 (九州共立大学)

2000年度ブロックリーダー・サブリーダーおよび運営委員

◎ (リーダー) ○ (サブリーダー)

[北海道]

- ◎北崎 寛 (札幌国際大学)
○和田 佳子 (北海道武蔵女子短期大学)
松井 弘子 (北海道女子大学短期大学)
丹治 和典 (札幌国際大学)
佐々木邦子 (北海道女子大学)
中川昌代 (道都大学短期大学部)

[関東・東北]

- ◎佐藤 啓子 (常磐短期大学)
○池内 健治 (産能短期大学)
○武田 秀子 (高崎商科短期大学)
天野 恒男 (東京家政学院大学)
井上良之助 (前(株)三井海上能力開発センター)
植竹由美子 (仙台白百合短期大学)
大島 武 (東京工芸大学女子短期大学部)
大橋進一郎 (城西大学女子短期大学)
風戸 修子 (産能短期大学)
古閑 博美 (嘉悦女子短期大学)
佐藤東九男 (東京工芸大学女子短期大学部)
高井由喜雄 ((財)実務技能検定協会)
田寺 典江 (田寺社会保険労務士事務所)
中佐古 勇 (十文字学園女子短期大学)
藤田 利久 (川口短期大学)

- 藤本 幹子 (千葉経済短期大学)
三村 善美 (東洋女子短期大学)
渡辺 鞠子

[中部 (東海・北陸)]

- ◎島名 正英 (愛知女子短期大学)
○中村 健齋 (静岡県立大学短期大学部)
○佐々木裕子 (愛知学泉女子短期大学)
吉田 寛治 (金沢学院大学)
柴山 正 (名古屋女子大学短期大学部)
一柳 達幸 (一宮女子短期大学)
川口 直子 (名古屋女子文化短期大学)
橋田 恵子 (名古屋女子商科短期大学)
戸田 昭直 (浜松短期大学)
福岡 欣治 (静岡県立大学短期大学部)
野口喜美代 (富山コンピュータ専門学校)
北潟 克輔 (金城短期大学)
河野 久子 (仁愛女子短期大学)
鎌田 和江 (愛知女子短期大学)

[近畿]

- ◎福永 弘之 (姫路工業大学)
○仁平 征次 (関西国際大学短期大学部)
○緒方 真澄 (平安女学院短期大学)
石田 紘子 (京都学園大学)
有働 寿恵 (梅花短期大学)
笠原 多恵子 (京都創生大学)

- 武田 寿子 (神戸医療福祉専門学校)
林 雄太郎 (大阪キリスト教短期大学)
森田 園子 (樟蔭女子短期大学)

[中国・四国]

- ◎川瀬 啓子 (安田女子短期大学)
○篠原 収 (広島女学院大学)
○佃 昌道 (高松短期大学)
垣見 益子 (中国短期大学)
林 直樹 (徳島文理大学短期大学部)
西川 三恵子 (土佐女子短期大学)
桐木 陽子 (松山東雲短期大学)
樋口 紀子 (梅光女学院大学短期大学部)
今林 宏典 (呉大学短期大学部)
吉田 行宏 (安田女子短期大学)

[九州・沖縄]

- ◎坂本 一登 (福岡女子短期大学)
○光岡 延幸 (福岡女子短期大学)
○花崎 正子 (東筑紫短期大学)
白川美知子 (中九州短期大学)
杉原 英夫 (九州共立大学)
井上 善海 (九州情報大学)
木原すみ子 (九州龍谷短期大学)
中村美代子 (純真女子短期大学)

2000年度新入会員

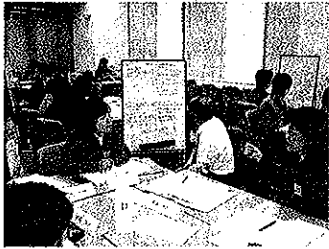
(2000年9月6日現在)

- 浅尾 晃 (広島安芸女子大学高等学校)
今村 哲 (拓殖短期大学)
岩井 良祐 (一宮女子短期大学)
浮田 英斐児 (酒田短期大学)
大西 新吾 (仁愛女子短期大学)
大山 輝光 (和歌山信愛女子短期大学)
岡部 義征 (川村短期大学)
笠島 美江子 (産能短期大学)
賀永 マキ子 (名古屋聖霊短期大学)
金子 義幸 (関東学院女子短期大学)
國分 孝志 (日本文理大学)
堺 次夫 (国際大学)
坂田 庄八郎 (香蘭女子短期大学)
相良 人司 (一宮女子短期大学)
佐久間 潔 (一宮女子短期大学)

- 佐塚 和彦
佐藤 國憲 (山口短期大学)
杉田 慶子 (樟蔭東女子短期大学)
杉本 百合香 (一宮女子短期大学)
高塚 順子 (高松短期大学)
田北 陸美 (草野産業株式会社)
田中 敬一 (近畿大学豊岡短期大学)
田中 伸代 (川崎医療短期大学)
谷 和親 (財団法人マツダ財団)
辻本 直樹 (赤塚学園ビジネス専門学校)
永里 紘二 (志学館大学)
中島 久実子 (血管科学研究会)
西下 勝治 (宮崎女子短期大学)
西本 万映子 (湘南国際女子短期大学)
藤戸 京子 (毎日新聞社 中部本社)

- 藤巻 静代 (松蔭女子大学)
古川 憲一 ((学)産業能率大学 産能短期大学)
堀江 洋子 (大阪外語専門学校)
松本 智江子 (津田スクールオブビジネス)
明城 康男 (東筑紫短期大学)
村井 信行 (雇用・能力開発機構 群馬職業能力開発短期大学校)
守田 昭彦 (帝京大学福岡短期大学)
八杉 哲 (鹿児島県立短期大学)
山内 征三 (聖霊女子短期大学)
山口 一美 (株式会社アサップ)
和田 幸恵 (常磐大学 大学院)
渡邊 敬与 (一宮女子短期大学)

学会主催のセミナーが大成功をおさめました



学会主催のセミナー「ビジネス実務教育指導法セミナー」(2000年12月)と「プレゼンテーション教育指導法セミナー」(2001年2月2回)が産能短期大学キャンパスで開催されました。合計参加人数は88名でした。学会主催のセミナーとしては今回が初めてであり、セミナー直前まで期待と不安につつまれながら準備をすすめておりましたが、予想以上の参加希望をいただき、ありがとうございました。今回ご参加いただけなかった

会員の方にお詫び申し上げます。以下に参加者からの声を中心に、今回のセミナーを振り返ってみたいと思います。

「ビジネス実務教育指導法セミナー」は、99年度JACB研究助成プロジェクトである「問題解決能力のための教授法案」を主材料として、セミナープログラムが開発されました。セミナーの内容については約9割もの参加者から「大変良かった」という評価をいただきました。参加者からは「参加型授業の良さが分かった」、「授業に活用できることをたくさん得られた」、「このような具体的教授事例はととても参考になる」などのコメントが見られ、ビジネス実務演習の授業に役立つ内容を参加者の多くに十分提供できたのでは、と思っております。また、日

頃他大学の教員との交流が限られていることもあり、今回のセミナーは参加者にとって「情報交換」の場、「刺激し合う」場でもあったようです。

「プレゼンテーション教育指導法セミナー」は、99年度JACB研究助成プロジェクトである「プレゼンテーション能力養成のためのプログラム作成」をもとにセミナープログラムが開発されました。研修内容については、約8割もの参加者から「大変良かった」という高い評価をいただきました。参加者からは「予想される課題と対処法がわかった」「ポイントを全て教わった」など、新たにプレゼンテーションの授業を担当される参加者の多くから好意的なコメントを数多くいただきました。また、プレゼンテーション教育指導法セミナーには15回分の授業が実施できるように、充実した教材を準備しましたが、ほぼ全ての参加者から教材の質、量ともに大変満足していただくことができました。

2日間のセミナーとしては内容を盛り込みすぎたという点など、今回の反省点を今後のセミナーにいかしたいと思えます。

また今年度も「ビジネス実務教育指導法セミナー」と「プレゼンテーション教育指導法セミナー」を下記の日程で開催することになりました。詳細につきましては、別途ご案内いたします。

日本ビジネス実務学会
セミナー事務局
風戸 修子

次回のセミナー開催のおしらせ

日程： 7月27日(金)～28日(土) プレゼンテーション教育指導法セミナー(関西・大手前女子短期大学にて開催)
8月2日(木)～3日(金) プレゼンテーション教育指導法セミナー(関東・産能短期大学にて開催)
12月22日(土)～23日(日) ビジネス実務教育指導法セミナー(関東・産能短期大学にて開催)

ビジネス実務論集に関するお詫び

ビジネス実務論集19号がお手元に届いていることと存じます。今回のビジネス実務論集では「報告」が5点掲載されていますが、これは全て「研究ノート」の誤りでございます。

製作者による念校後のミスであることから、製作者の責任の下でただちに再印刷にとりかかっております。修正版をなるべく早く皆様のお手元にお送りしたいと考えておりますが、今回は以下のように対処いたします。

- 1) 全国大会の参加者には、直接お渡しします。
- 2) 全国大会に参加されない方には、「2000年記念誌」と一緒に配送します。

修正版がお手元に届き次第、既にお送りした論集を廃棄していただきたく存じます。

今回のミスにつきましては、執筆者ならびに会員の皆様にご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

日本ビジネス実務学会
事務局 内藤 英俊